

令和3年度



# 園だより

文京区立根津幼稚園



## 「お誕生日 おめでとう」 誕生会の様子から

副園長 野本 和美

例年、誕生会は4・5歳児が遊戯室で一緒に行い、3歳児は保育室で3歳児のみで行っていましたが、今年度はコロナ禍で緊急事態宣言下という状況ですので、4月、5月は学年ごとに行いました。今回はそんな誕生会の様子をお知らせしたいと思います。

### <5歳児 ほし組>

座る姿もかっこよく、さすがほし組です。年長として司会も自分たちで行うので張り切っています。5月の誕生会の出し物を歌に決め、何の歌を歌うか学級の皆で相談して決めました。「〇〇の歌がいい、だって〇〇だから」と、歌いたい歌とどうしてその歌がよいか、皆の前で自分の思いを言い、その気持ちを聞いてきました。「ハッピーになるから」ということで『ハッピーチルドレン』に決まりました。このように、皆で相談をし、自分の思いと相手の思いを聞き合うことはとても大切です。

本当ははな組にも聞いてもらいたかった歌、でも、お家の方が聞いてくれて「うれしかった」と満足そうでした。



### <4歳児 はな組>

本来なら司会はほし組さんですが、今回は先生が行いました。お楽しみの出し物は、先生の『パネルシアター』楽しいストーリーに身を乗り出して見ていました。4歳児だけで、しっとりゆったりとお友達をお祝いできるのもよいな、と感じる温かい雰囲気の中での誕生会でした。



### <3歳児 りす組>

りす組は、例年と変わらない形態ですが、ディスタンスを取って行っています。誕生児はお家の人と一緒に前に出て参加します。出し物は先生から『大型絵本』のプレゼント。いつもと違う大きな絵本にびっくり。先生といつもの言葉の掛け合いの中、のんびりと進んでいきました。



誕生会のやり方は変わったとしても変わらないのが、誕生日を迎えた友達をお祝いしようという気持ちでした。どんな状況でも、誕生児本人が誕生会をとても嬉しいことであると感じ、周りから盛大にお祝いしてもらえることに喜びを感じている。自身の成長の機会として、友達とともに誕生会をすることのよさを感じました。

今後も様々な活動の中で、変更せざるをえないことが多くあると思います。ですが、できる範囲の中で、この活動は何のために行っているのか、子どもにとって大切にしたい経験は何かをしっかりと考えながら進めていきたいと思っています。これからも、様々な場面でのご協力をお願いいたします。